

2005 年 2 月 15 日

0.11 μm プロセスの 16M ビット SDRAM を製品化

デジタル家電分野の需要に応え、長期サポートを計画



エルピーダメモリ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 兼 CEO：坂本幸雄以下、エルピーダ）は、このたび、0.11 μm の先端プロセスを採用した 16M ビット SDRAM 「EDS1616 シリーズ」を製品化いたしました。

近年、PC / サーバの情報処理機器ではシステムの高性能化に伴い、DRAM も大容量化、高速化が進んでおります。その反面、デジタル家電機器では小容量 SDRAM の需要も根強く、また、長期にわたっての安定供給が求められています。

エルピーダはこのようなご要望にお応えするため、16M ビット SDRAM を 0.11 μm プロセスで新たに設計、製品化いたしました。先端プロセスの採用により消費電流の大幅な削減にも成功、低消費電力品のご要求に対しては、バースト電流（IDD4）を 40% 減、セルフリフレッシュ電流（IDD6）は 1/3 に削減したローパワー品を提供する予定です。

新製品の主な特長は以下のとおりです。

- 0.11 μm 先端プロセスで設計した 16M ビット SDRAM（JEDEC 準拠）
- 鉛フリー対応（Sn-Bi）の TSOP II パッケージ、FBGA パッケージをラインアップ

- 3.3V (EDS1616AGTA)、2.5V (EDS1616CGTA) 品をラインアップ
- 屋外でも使用可能な動作温度拡張品 (- 40 ~ + 85) にも対応

ターゲット製品

- ポータブル CD プレーヤー、カーオーディオ
- DVD ドライブ、ハードディスクドライブ
- プリンタ、スキャナ
- デジタル TV、セットトップボックス など

本製品はすでにサンプル出荷を開始しており、2005 年 3 月から量産を開始、2005 年後半には月産 1000 万個規模での出荷を予定しております。

エルピーダは 16M ビット SDRAM から 1G ビットの DDR2 SDRAM まで、幅広いラインアップでお客さまのご要望にお応えしてまいります。

新製品の主な仕様は別紙をご覧ください。

以 上

ニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

別紙

16M ビット SDRAM の主な仕様

製品名	EDS1616 シリーズ
製造プロセス	0.11 μ m CMOS
構成	512K ワード \times 16 ビット \times 2 バンク
電源電圧(VDD)	3.3V \pm 0.3V、2.5 \pm 0.2V
クロック周波数	166MHz、133MHz
動作温度範囲	0 ~ +70 -40 ~ +85 (動作温度拡張品)
バースト時動作電流 (IDD4)	120mA (Max.) 70mA (Max.) (ローパワー品)
セルフリフレッシュ電流 (IDD6)	1mA (Max.) 300 μ A (Max.) (ローパワー品)
パッケージ	・ 50 ピン TSOP II (20.95mm \times 11.76mm \times 1.0mm) ・ 60 ボール FBGA (10.10mm \times 6.40mm \times 1.10mm)